

### 歳出

民生費が歳出全体の26・3%

歳出予算で構成比が一番高いのは、民生費で26・3%となっており、次いで総務費、土木費、教育費、衛生費の順となっています。

前年度と比較すると、民生

費は8・4%減の16億7,685万8千円、総務費は35・0%増の12億4,258万3千円、土木費は52・9%減の11億1,151万1千円、教育費は36・5%増の9億9,235万5千円、衛生費は21・0%増の4億7,305万2千円となりました。

それでは、主な項目ごとに予算の使い道を紹介いたします。

- ※ ( ) 内は構成比
- 議会費 1億2,477万3千円
  - 公債費 1億1,670万3千円
  - 農林水産業費 1億85万1千円
  - 商工費 2,355万8千円
  - 予備費 1,000万円
  - 災害復旧費 1万6千円

川越診療所は本年4月1日から土曜診療を行います、月曜が休診になります。



### 民生費

主に社会福祉、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉などに関する予算です。

児童福祉事業として、児童館運営事業、子ども医療費助成（就学前から中学生まで〈中学生は入院のみ〉）等、子育て支援対策事業の充実を図ります。

障がい者福祉事業として、自立支援法に基づく障がい者自立支援法に基づく障がい者自立支援訓練等の各事業を推進します。また、前年度に引き続き、障がい者及び保護者等への相談支援や聴覚・言語等障がい者へのコミュニケーション事業、心身障がい者への理髪やおむつ等の給付サービスを実施します。

高齢者福祉事業として、前年度に引き続き、老人福祉施設入所者措置費や敬老年金事業を実施します。

他には、前年度に引き続き、

### 総務費

主に全般的な管理事務や町の共通経費などに関する予算です。

今年度の主な事業として、町民のみなさんの災害予防対策として、防災行政無線個別受信機の整備事業、更なる行政事務の効率化を図るために第4次総合行政情報システム事業を実施します。そして、今年度で、町制施行50周年を迎えるにあたり、記念式典事業を実施します。

また、前年度に引き続き、各地区の公共的要望に対応した環境整備事業、住民票等各種窓口発行業務の簡素化のため自動交付機設置事業、CA-TVによる行政情報番組等の情報化施策を実施します。

交通安全対策事業として、町内の道路にカーブミラーや街灯等を設置し、交通安全の推進を図ります。

### 教育費

主に幼稚園や小中学校、社会教育などに関する予算です。

今年度の主な事業として、北小学校の校舎改修工事、総合体育館駐車場周辺施設改修工事及び中学校のデリバリ給食事業を実施します。

また、前年度に引き続き、地域特別支援教育の充実や読書活動推進のため幼・小・中へ司書の配置を行う学校図書管理事業、児童防犯対策として小学校児童の登下校時の巡回及び校内パトロールを行うスクールサポートボランティア事業を実施します。

### 土木費

主に道路や水路の整備を行い、みなさんの利便性を向上させるための予算です。

町道の整備等を行うとともに、雨水による浸水への対策として朝明ポンプ場の維持管理等を実施します。また、川越富洲原駅の自由通路及び駅前広場等の維持管理を実施します。

平成23年度  
一般会計  
予算総額

# 63億7,000万円

前年度からは6億7,840万円の減

【表1】

(単位：千円・%)

区分	予算額		比較	増減率
	23年度	22年度		
一般会計	6,370,000	7,048,400	△678,400	△9.6
国民健康保険特別会計	1,317,090	1,343,540	△26,450	△2.0
事業勘定	1,195,730	1,186,420	9,310	0.8
診療施設勘定	121,360	157,120	△35,760	△22.8
老人保健特別会計	0	1,390	△1,390	△100.0
介護保険特別会計	846,830	678,110	168,720	24.9
後期高齢者医療特別会計	104,090	104,720	△630	△0.6
公共下水道事業特別会計	1,179,470	1,135,580	43,890	3.9
水道事業会計	392,636	428,064	△35,428	△8.3
水道事業費用	344,098	317,073	27,025	8.5
資本的支出	48,538	110,991	△62,453	△56.3
歳出合計	10,210,116	10,739,804	△529,688	△4.9

町の平成23年度予算が3月議会で可決されました。

一般会計、特別会計、企業会計を合わせた歳出予算総額は102億1,011万6千円となり、前年度と比較すると5億2,968万8千円(4・9%)の減となりました(表1)。なお、旧老人保健法に基づき設置していた老人保健特別会計は平成22年度末で閉鎖になりました。

川越診療所は本年4月1日から土曜診療を行います、月曜が休診になります。

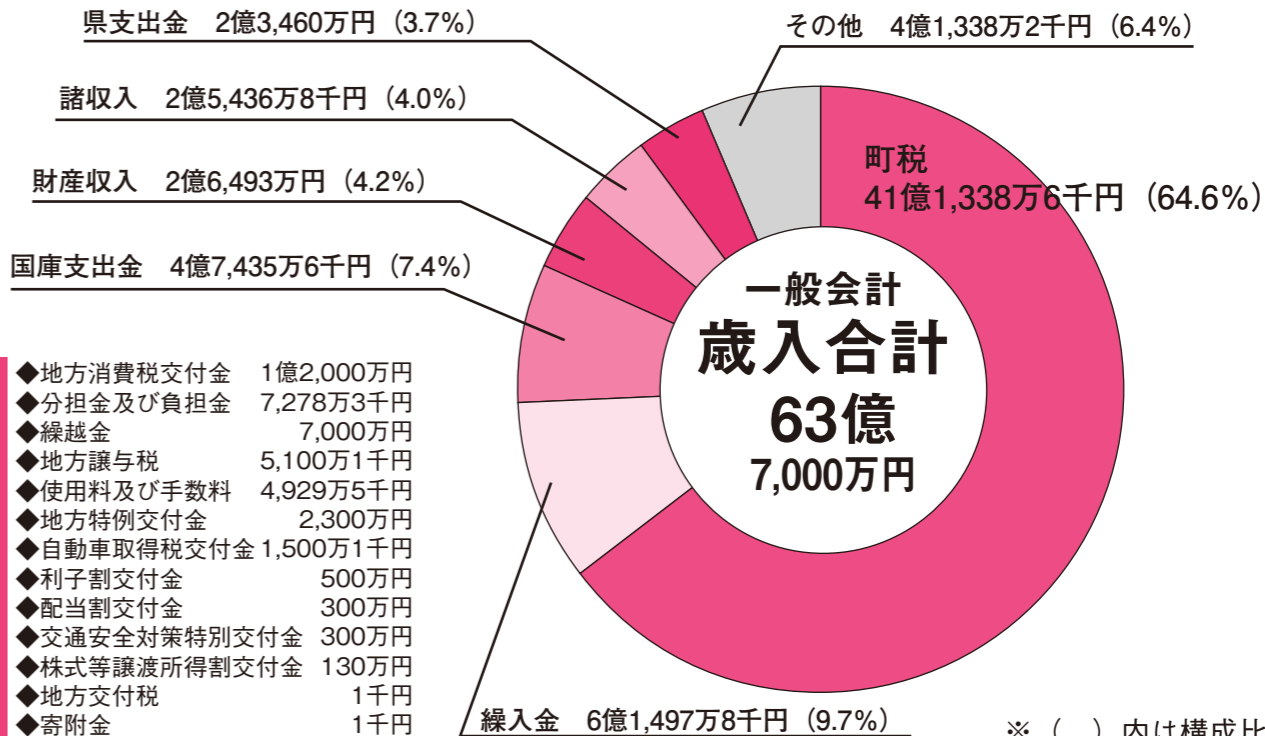
### 歳入

町税は64・6%

一般会計の予算額は63億7,000万円で、前年度比9・6%の減となりました。

歳入予算の構成比は、町税が64・6%と一番高く、次いで繰入金、国庫支出金、財産収入、諸収入、県支出金の順となっています。

その中で、町税は4・2%減の41億1,338万6千円、繰入金は54・8%減の6億1,497万8千円、国庫支出金は32・5%増の4億7,435万6千円になるなど歳入全体では、6億7,840万円の減収となりました。



- その他の内訳
- ◆ 地方消費税交付金 1億2,000万円
  - ◆ 分担金及び負担金 7,278万3千円
  - ◆ 繰越金 7,000万円
  - ◆ 地方譲与税 5,100万1千円
  - ◆ 使用料及び手数料 4,929万5千円
  - ◆ 地方特例交付金 2,300万円
  - ◆ 自動車取得税交付金 1,500万1千円
  - ◆ 利子割交付金 500万円
  - ◆ 配当割交付金 300万円
  - ◆ 交通安全対策特別交付金 300万円
  - ◆ 株式等譲渡所得割交付金 130万円
  - ◆ 地方交付税 1千円
  - ◆ 寄附金 1千円

※ ( ) 内は構成比